

欧州編:

世界制覇狙う iPhone の欧州への再挑戦

2008 年末までに世界で 1,000 万台の出荷達成という大きな目標を掲げた Apple が、3G や GPS を搭載した「iPhone 3G」を世界 22 ヶ国で 7 月 11 日に発売すると発表。欧州では、すでに発売されている英国、ドイツ、フランスを含む 12 ヶ国が対象となる予定だ。しかし、発売 1 年足らずでシェア 2 位に浮上した米国スマートフォン市場におけるうなぎ上りの人気とは対照的に、欧州では、価格の高さや、老舗 Nokia や Research In Motion (RIM) の端末に圧され、iPhone の人気は低迷気味。米国では、次世代モデルは、既存の約 3 分の 1 の価格になった「iPhone 3G」の売り出しに、欧州通信業者は、iPhone 3G 利用の定額料金プランや特典キャンペーンと合わせ、大幅に端末の提供価格を下げた。英国では、現行の iPhone の現行の 8GB モデルは、554 ドルで、多くの人がその購入を躊躇している (GfK NOP 調査)。そこで、英国の iPhone 端末販売・ネットワークを請け負う通信事業者 O2 は、加入する月額プランによって次世代 iPhone の価格設定を変え、利用者が高額プラン (88 ドルあるいは 146.50 ドル) を 2 年間契約すれば、8GB の iPhone 3G を無償で提供するとしている。また、ドイツの T-Mobile も月額 107 ドルのプランに加入したユーザに 1.55 ドル (=1 ユーロ) で提供予定 (ドル換算は、6 月 16 日付 InformationWeek 誌によるもの)。両国では、既存の iPhone ユーザには、3G 機種へ無償アップグレードのプランも用意されている。世界制覇に向け、欧州への大胆な賭けが功を奏するのか、また、こうした戦略が新規市場でも実行されていくのか—Apple は再び台風の目となる。